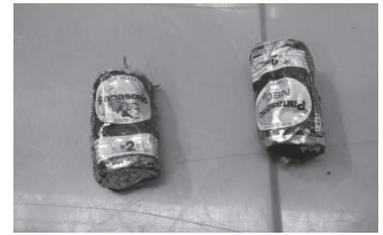




生ごみに異物を入れないで！！

野木町では生ごみの分別収集を行い、収集された生ごみは南赤塚にある南部清掃センターへ運搬され、堆肥として再資源化しております。

また、平成4年12月から専用の紙袋で生ごみの分別が行われております。しかしながら生ごみ収集用紙袋は仕様上中身が見えないため、不適切な出し方をされていては気付かずに収集されるおそれがあります。過去に石や布切れなどの異物混入が見られ、先日も乾電池の混入が見受けられました。



生ごみに混入していた乾電池

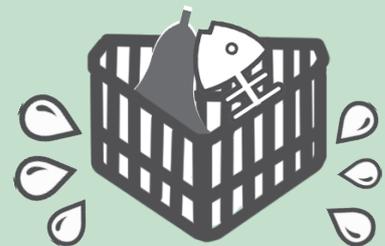
このような異物が混入した場合、生ごみからつくられる堆肥の品質に悪影響を及ぼすだけでなく、生ごみ処理施設の故障の原因にもなります。最悪の場合は生ごみ処理のラインが停止し、生ごみの処理ができなくなる可能性もありますので、異物の混入は絶対にお止めください。

ここで改めて生ごみの正しい排出方法についておさらいです。正しい方法を改めて身につけて生ごみの堆肥化にご協力ください。

生ごみの正しい排出方法

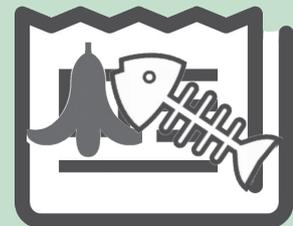
1. 生ごみの水分を三角コーナー等で切る

- ・生ごみの水分を十分に切ることでニオイや虫の発生抑制につながります。
- ・生ごみを上から押さえつけたり、三角コーナーを傾けるだけでも多くの水分が切れます。



2. 新聞紙等の紙(2枚以下)で生ごみを包む

- ・新聞紙に含まれるインクが生ごみのニオイの抑制に一定の効果があります。
- ・生ごみが十分に乾燥している場合、無理に紙で包む必要はありません。



3. 紙で包む・もしくは乾燥させた生ごみを紙袋に入れる

- ・水切りまたは乾燥が不十分だと、残留した水分が紙袋から滴るおそれがあります。



4. 紙袋に記名のうえ、付属の麻ひもで口をしぼる

- ・お住まいの自治会の可燃ごみ・生ごみの収集日に、可燃ごみ集積所に排出してください。

